

報道関係各位

2020年2月26日
株式会社クロス・マーケティング

コンテンツマーケティングのための戦略策定支援サービス 「データストーリーボード」の提供開始

～潜在顧客・見込み顧客のニーズを把握し、デジタルマーケティング推進を支援～

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：五十嵐 幹）は、コンテンツマーケティングのための戦略策定支援サービス「データストーリーボード」の提供を2020年2月より開始しました。本サービスは、オウンドメディアの運用に留まらず、ソーシャルメディアやMA（マーケティング・オートメーション）ツールなどを駆使した統合的なデジタルマーケティングに取り組まれているメーカー向けのデータマーケティングメソッドです。

昨今、企業によるSNS運用やインフルエンサーを活用したプロモーション手法が一般的になってきた一方で、「バズる」ことを目的としたコンテンツの有効性を疑問視する声も多くなってきました。また、B to Bの場合では、効率的な営業活動の推進のため、MAツールを導入したものの、なかなか運用に乗らず解約に至るケースも多いようです。従来のオウンドメディア運用のみのWebマーケティングから、多種多様なツールやメディアを活用した、戦略的なデジタルマーケティングへのシフトが求められる中で、「潜在顧客や見込み顧客のニーズに沿ったコンテンツ提供」は多くのメーカーにとっての共通課題となってきたといえるでしょう。

当社が新たに提供する「データストーリーボード」では、各サービスの会員やサイトに訪れた匿名状態の顧客に対してアンケートを実施し、意識データを取得。取得した意識データを購買データ・行動データと掛け合わせることで、コンバージョン（行動の変化）×パーセプション・チェンジ（意識の変化）を分析します。顧客の行動の裏側にある心理的な障壁をマーケティング上の課題として理解することにより、顧客化の各フェーズに対応した最適なコンテンツ作りへとお役立ていただけます。

